

# 川上宏奨学金報告書

令和 5 年 3 月 22 日

## 1. 論文タイトル

赤文字系雑誌における女性と恋愛：『JJ』・『ViVi』を事例として

## 2. 論文要旨

第一に、本研究の目的は、赤文字系雑誌がどのような恋愛関係における女性の実態を提示するのかという問いを絞って考察すること。

第二に、調査の方法はまず、女性ファッション誌に関する文献調査を行う。そして、通時的記述と共時的記述の併用で、内容分析とテキスト分析を用いる。

主に三つの部分から考察していく。それぞれはファッション表象が含まれるデートコーデ記事、男性視線を代表する男性芸能人の記事と一部の男性素人の記事、または読者自身の恋愛の悩みを解決するためのホロスコープである。分析の手続きに進む前に、2010 年から 2022 年にかけての必要なページを収集する。全てのページは両誌の 1 月号から抜き出される。これから、各部分を考察する手続きを説明する。

まずはデートコーデ記事である。各記事に載せられるファッションアイテムをカテゴリ化し、表を作成する。モテ服に対する検討に加えて、デート服の特徴を捉える。『JJ』と『ViVi』から典型例を抽出し、ファッションアイテム以外、記事中の言葉遣い、モデルの特徴などで具体的にデートコーデ記事の本質を開示する。

次には男性芸能人記事である。疑似恋愛の概念を紹介する。この文脈において、インタビューの質問をカテゴリー化し、表を作成する。これに基づいて、分析を行う。二誌の典型例の抽出に関して、同じ登場する男性の素人の記事も含めて、両者の共通点と相違点を考察する。

最後、ホロスコープには、星占いの意味合いを明確するうえで、二誌の内容構成を説明する。この後、KH コーダーで頻出語リストを作成し、二誌を分けて分析する。変遷を明らかにするために、典型例には2000年以前の『JJ』と『主婦の友』も比較対象として抽出した。キーワードと言葉遣いという角度から分析する。

第三に、結論として、赤文字系雑誌における女性と恋愛について、まず、恋愛関係中の女性伝統的なステレオタイプがまだ存在することを確認した。アパレルのフェミニンの強調が最も説得力のある証拠だ。しかし、主流の方向が保持されるまま、女性の覚醒が少しずつ浮上する。「良妻賢母」などの社会から押し付けられるルールが既定のライフコースから消えている。誌面が提示する「恋愛」は、現実世界から離れて、ファンタジーの恋愛に近づく。そして、女性が主体性を持ち、単なる男性に選択される局面が一変して、女性も選択する自由を得た。

### 3. 奨学金使途

- ・書籍代
- ・国会図書館への交通費
- ・国会図書館でのコピー代
- ・資料収集費（スキャンなど）

## 謝辞

本研究を行うにあたり、奨学金を給付してくださった故川上宏先生とご家族、関係者の皆様に心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。